

令和6年4月26日
国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所

国道20号大月バイパス 全線開通後の整備効果

～交通状況と発現した整備効果をお知らせします～

国道20号大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から大月市大月町花咲に至る延長3.2kmのバイパス事業です。令和4年4月23日に都留高校南交差点から大月インター入口交差点が開通しました。これにより、大月バイパスが全線開通しましたので、開通後の整備効果について発表します。

1. 国道20号現道の交通状況

大月バイパスと並行する国道20号現道の平日の交通量は、全車で約4割、大型車で約7割減少しました。

2. 国道20号現道の安全性の向上

国道20号現道では、約3割死傷事故件数が減少しました。

3. 大月バイパスの交通状況

大月バイパスの全線開通後、大月バイパス都留高校南交差点にて新たに渋滞が発生しましたが、右折レーン延伸や信号現示の見直し等により、朝夕の渋滞が減少しました。

大月バイパス 西行き：朝ピーク時 500m→100m

国道139号 北行き：朝ピーク時 860m→100m

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 山梨県政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

電話：055-252-5491（代表） E-mail：ktr-koho-koufu@mlit.go.jp

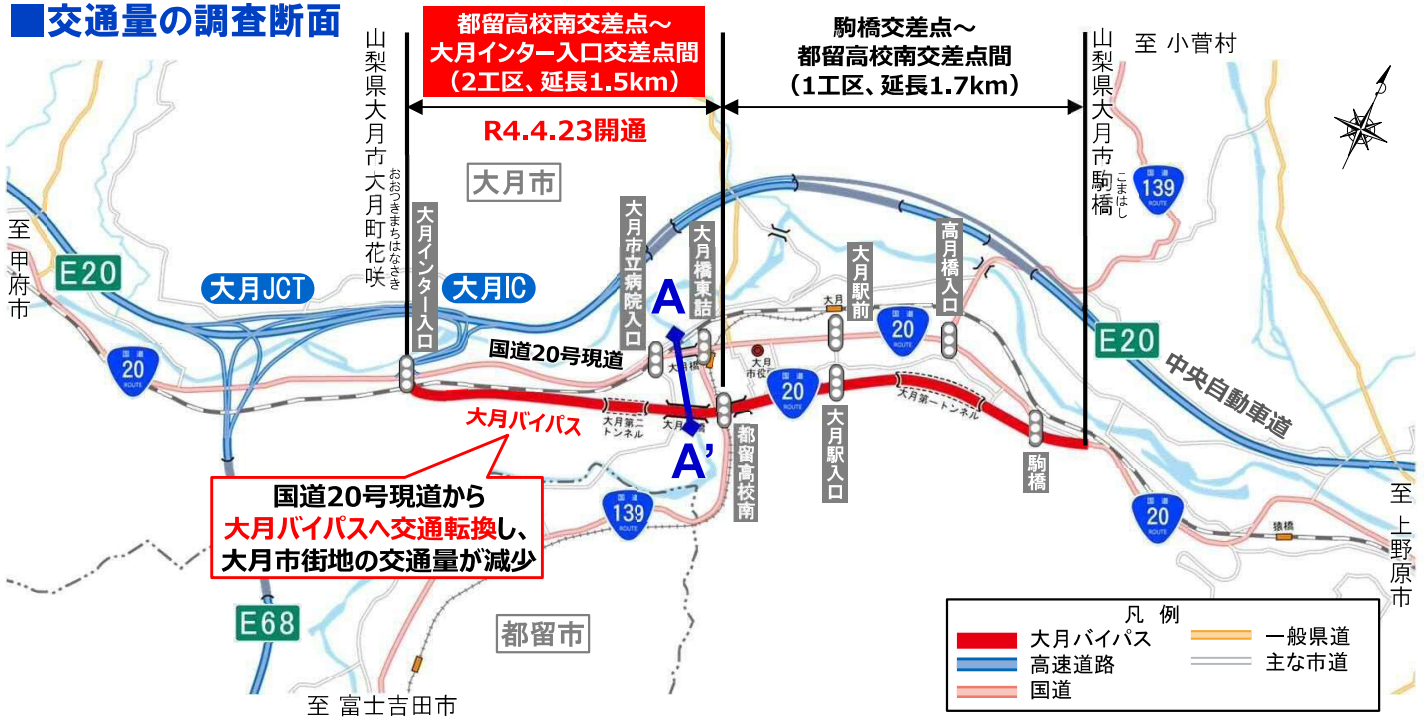
道路副所長 [改築] 有上 悟（ありうえ さとる）

計画課長 森田 博継（もりた ひろつぐ）

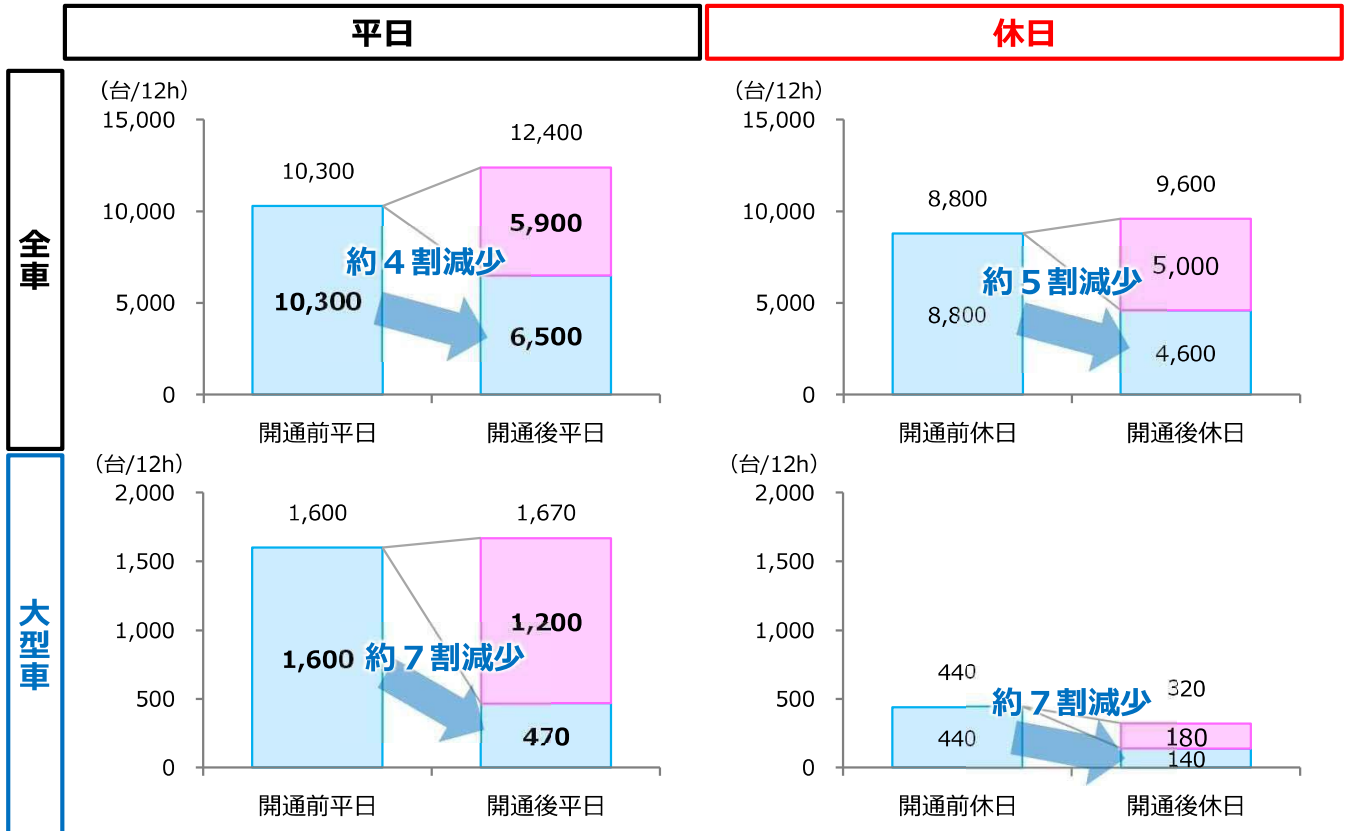
1. 国道20号現道の交通状況

- 大月バイパス 都留高校南交差点～大月インター入口交差点間（2工区）における昼間12時間交通量は、平日・全車で約5,900台、大型車で約1,200台。
- 並行する国道20号現道における昼間12時間交通量は、平日・全車で約4割減少（約10,300台→約6,500台）、大型車で約7割減少（約1,600台→約470台）。大型車を中心に交通がバイパスに転換。

交通量の調査断面



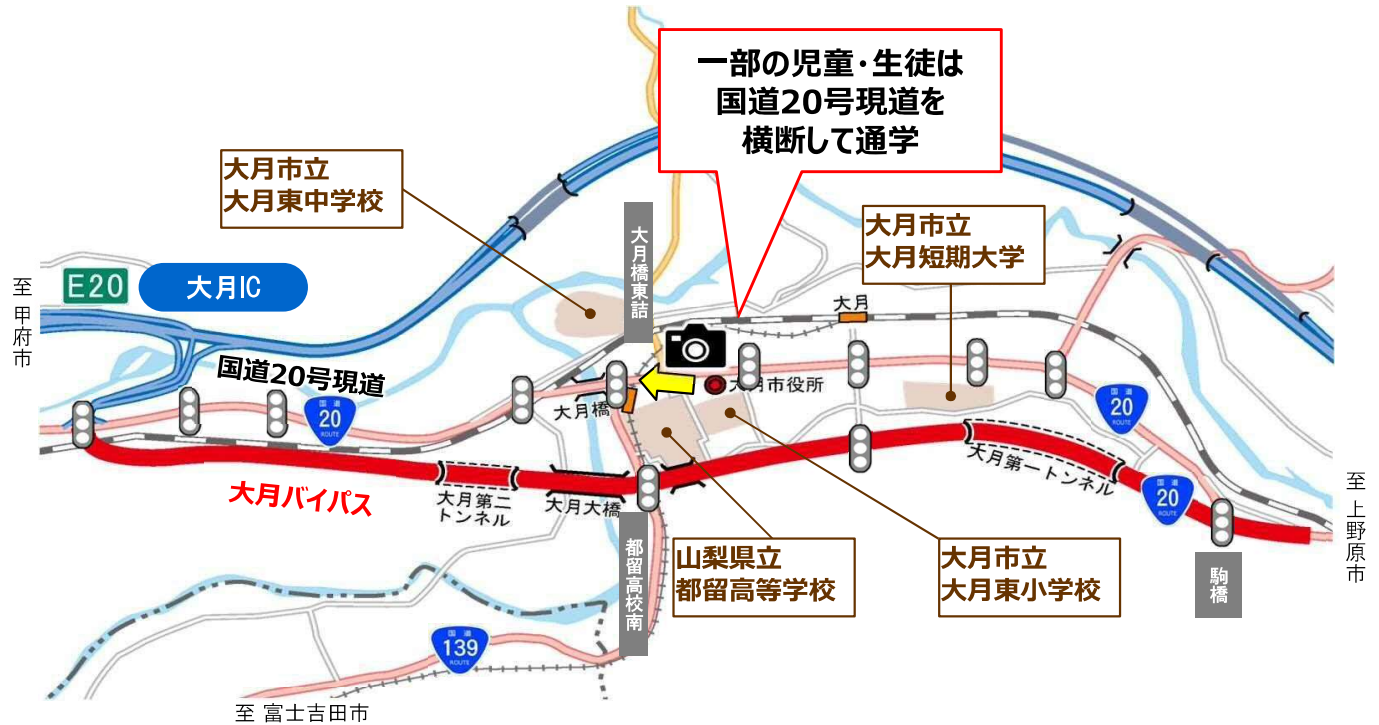
大月バイパス全線開通前後の断面交通量(A-A'断面)



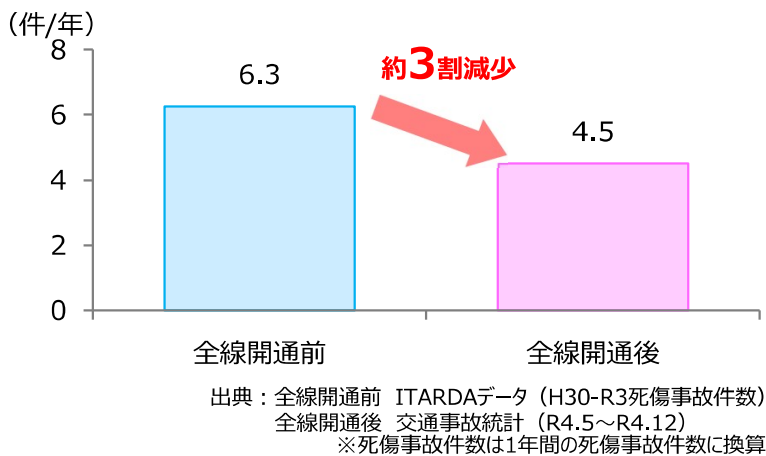
2. 国道20号現道の安全性の向上

- 大月バイパスの全線開通後、国道20号現道では約3割死傷事故件数が減少。
- 児童・生徒の通学時においては、交通量が減少したことで安心感が向上。

■大月バイパス付近の学校と通学路



■国道20号現道の死傷事故発生状況



■ 近隣の学校の声

- ・国道20号現道を横断して通ってくる子どもたちの登校時に、交差点に進入する車の数が減ったことで、国道20号を横断する時の危険性が減少したと感じています。
- ・歩行者にとって、国道の交通量が減ったことで、信号のない横断歩道でも横断しやすくなりました。また、大型車の通行が減り、安心感が増したと思います。

(R5.2 学校ヒアリング結果)

■国道20号現道の通学風景

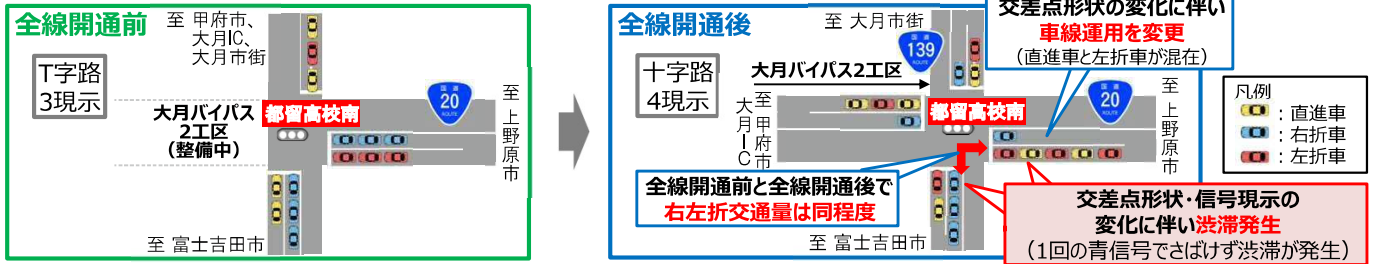


大月バイパスの全線開通後、
国道20号現道の交通量が減少

3. 大月バイパスの交通状況

- 大月バイパスの全線開通後、国道20号現道大月橋東詰交差点の渋滞が解消されましたが、大月バイパス都留高校南交差点にて新たに渋滞が発生しました。
- 右折レーン延伸や信号現示の見直し等により、都留高校南交差点を起点に発生していた朝・夕の渋滞が減少しました（大月バイパス 西行き：朝500m→100m、国道139号 北行き：朝860m→100m）。

都留高校南交差点における渋滞発生状況と渋滞対策

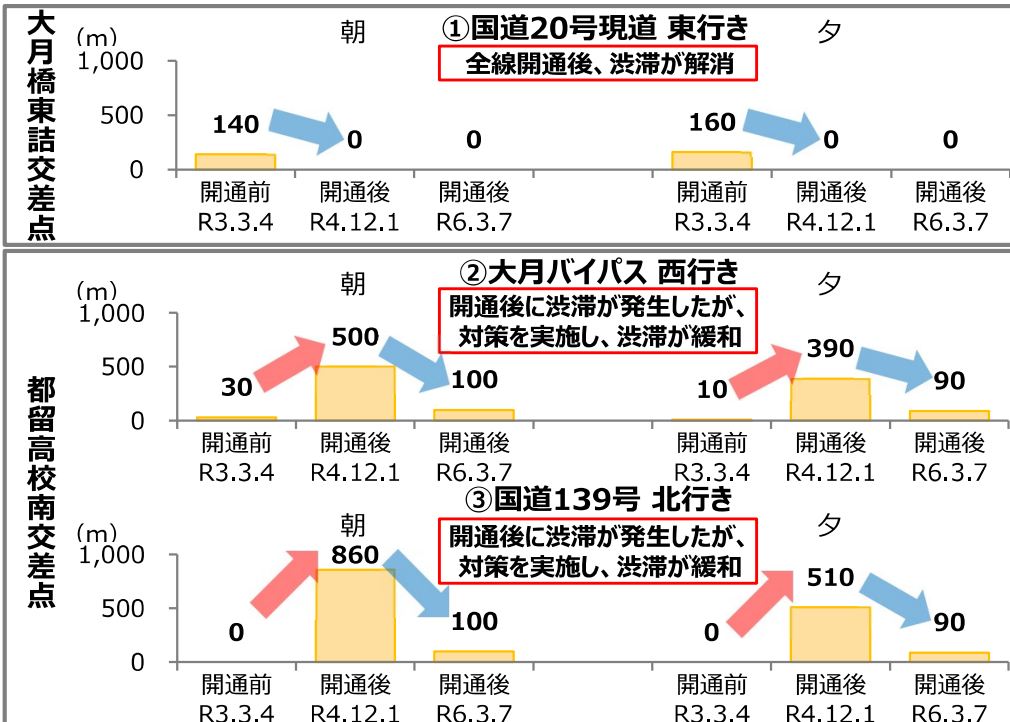


国道139号(下り)右折レーンの延伸や交差点内の信号現示の見直し等の対策を実施

渋滞長の調査断面



最大渋滞長の変化



出典：渋滞長調査（開通前：R3.3.4（木）、開通後：R4.12.1（木）、R6.3.7（木））

渋滞の状況



【参考】国道20号 大月バイパスの概要

■計画概要

- 路線名 国道20号 大月バイパス
- 区間 自) 山梨県大月市駒橋
至) 山梨県大月市大月町花咲
- 延長 3.2km
- 車線名 2車線
- 道路規格 第3種第2級
- 設計速度 60km/h
- 幅員 10.0~16.0m

■位置図



■平面図



■横断面図 (単位：m)

